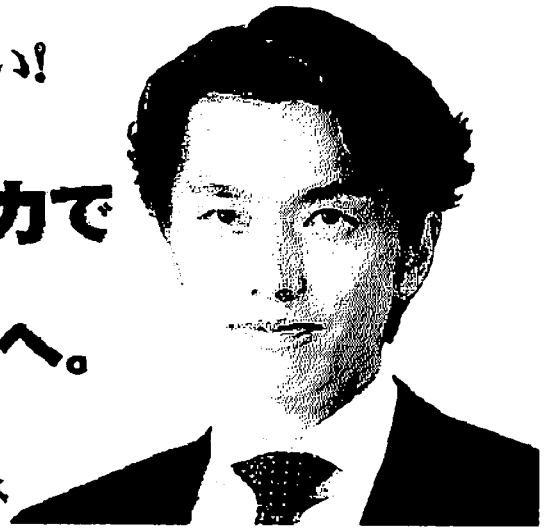


“世襲政治”では日本は変わらない!

あきひさ
つるかわ晃久の若い力で
日本を世界のリーダーへ。



幹事長代理 つるかわ 晃久

ごあいさつ

私が学んだ慶応義塾の創設者・福沢諭吉先生は、その名著「学問のススメ」の冒頭において「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」とおっしゃいました。つまり、人の価値は、生まれや家柄で決まるのではなく、努力によって決まるという意味です。しかし、現在の衆議院議員は約三分の一が世襲議員と言われ、江戸時代の封建制に昔返りしたかの状態です。国の舵取りをする重責を担う国会議員は、中小企業や伝統芸能とは違って、幅広く国民の中から優秀な人物を選ぶべきだと思います。

現在の日本は、あの明治維新の頃のような分岐点にあります。長引く不況と北朝鮮のミサイル脅威。内憂外患の危機に対して、政治家の判断ひとつで日本が二流、三流国へ落ちることも、世界の繁栄に貢献するリーダー国となる可能性もあるのです。私は、横須賀・三浦の地において、勇気を持って若者の夢を阻む世襲政治と対決し、日本に希望の未来を開いてまいりたいと思います。

私の目指す理想、それは、若者の描いた夢が叶う国、「ジャパニーズ・ドリーム」が実現する国をつくることです。日本の各地で、努力家で元気な若者が続々と誕生する国を夢見て今日もチャレンジしてゆきます。

幸福実現党 幹事長代理 鶴川晃久

スタート!ジャパニーズドリーム!



幸福実現党

つるかわ晃久 (つるかわ あきひさ)

プロフィール

幸福実現党幹事長代理。1974年、東京生まれ。34歳。慶応義塾大学経済学部卒業後、宗教学人 幸福の科学に入局し、専務理事などを歴任。2009年5月の立党より現職。妻と娘2人の4人家族。趣味は子どもと公園で遊ぶこと。中高時代はバスケットボール部主将で、当時戦った横須賀の高校は強豪で、今でも記憶に残る対戦相手。ヨット好きの父と過ごした三浦市三戸浜は思い出の場所。

つるかわ晃久後援会事務所 TEL: 046-821-5621
横須賀市日の出町1-2-7 ノイエ横須賀1-101

消費税率を上げても、 税収は減っていきます。

税収を増やすには、 景気拡大しかありません。

そのために、消費税を全廃します。

消費税を増やしても、トータルの税収は増えないどころか、むしろ減っていきます。

税収の増減は、所得税と法人税に大きく左右されます。所得税と法人税を増やすには、企業の業績をよくする必要があります。例えば、86年から90年のバブル期はわずか4年で18兆円も税収がアップしています。

税金の「財源」となる企業の売上を伸ばすためには、消費を活発にすることが不可欠です。

それを可能にするのが、私たち幸福実現党の提案している「消費税ゼロ」です。

一時的に税収が減っても、景気が拡大すれば、かえって税収は増えていきます。

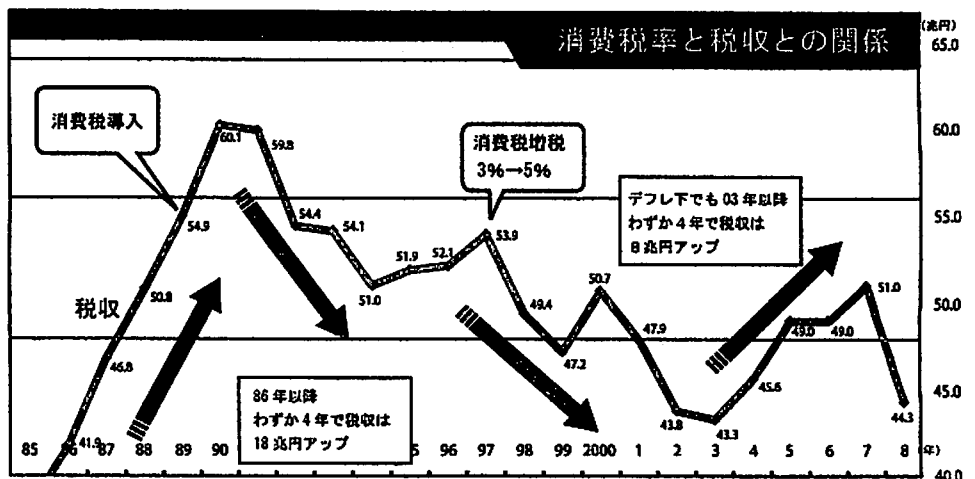
当面の減収分は
国債発行で対応

なお、2010年度から消費税・相続税を廃止すると、税収は約11.5兆円減って、33兆円となります。当座は、不足分に関しては国債を発行して補いますが、不況の戦犯である日本銀行や、海外の投資家に保有してもらうようにします。

なお、4%の経済成長を続けると、2013年度には、45兆円まで税収が回復します。この間に生じた累計29.4兆円の税収不足は、その後も税収が増え続けることで、4年間で取り戻せます。

歴史が示す事実！

消費税の増税では、税収は増えません。



※消費税を導入した89年は、税収は4兆円増えましたが、94年には消費税導入前の水準まで落ち込んでしまいました。

※97年は消費税を3%から5%に引き上げましたが、全体では1.8兆円の税収アップに止まりました。さらに99年には消費税増税前より5兆円の税収減となりました。

※増税すれば、「消費税増税」→「不況で税収減」→「再び増税」という悪循環となります。



幸福実現党